

## 高齢者割引について

団塊の世代が、後期高齢者となる、2025年が迫る中、本市の第6次総合計画においては、高齢者の増加により、医療や年金等の社会保障費が急増、一人ひとりが健やかに暮らせるよう、医療・介護等の環境の充実や、予防に向けた取り組みの充実、それぞれの能力に応じて活動できる環境づくりなどが求められている。

また、平成26年度厚生労働省白書においても、個人の生活の質の低下を防ぐとともに、社会保障負担の軽減を期待するため、健康寿命の増加を目標としてかかっている。

このようななか、高齢者が、地域でいつまでも元気でいきいきと暮らせるような施策が求められており、ちゅうバスについても対策が求められるところである。

- 1 高齢者の介護予防のためにも、積極的な引きこもり防止が行政に求められている。
- 2 交通弱者（高齢者）は移動に際し、身体的・経済的負担が大きく、そのことが外出の制限となる。（徒歩、自転車、自動車等代替できる交通手段が少ない。）
- 3 民営バスでは、『東京都シルバーパス』により、70歳以上の高齢者のバス利用に対しての経済的な支援を行い、高齢者の社会参加を助長し、高齢者の福祉の向上を図っている。

これらのことを総合的に判断すると、ちゅうバスにおいても、交通弱者である高齢者が積極的に外出を行い、元気で活動的な生活を送れるよう、また、いきいきと充実した高齢期を過ごせるよう、割引制度を実施する必要があると判断した。